

## いってみゆう会 今年度のスケジュール

【日にち】  
 H25年 12月24日 (火)  
 H26年 1月28日 (火)  
 2月25日 (火)  
 3月25日 (火)

【時 間】  
 午前 10 時～午前 11 時 30 分

【場 所】  
 つなぎ温泉四季彩 2 階大広間

【参加費】  
 入館料 ※自己負担

【問い合わせ】  
 津奈木町社会福祉協議会  
 ☎ 61-2940

現在、社会福祉協議会では、転倒骨折予防サロンの事業『いってみゆう会』を各地区の公民館でおおむね60歳以上の人を対象に行っています。これは、参加者がいつまでも介護や支援を受けることなく、心身ともに元気で楽しい生活を送ってもらうよう行われているもので、今年で10年が経ちました。各地区公民館の他に四季彩にて出前講座も開催しており、一人一人の元気づくりだけでなく、参加者同士の交流の場として活用されています。今年度の予定は次のとおりです。お気軽にご参加ください。



いってみゆう会で活動するメンバー

## 介護・転倒骨折予防事業

「いってみゆう会」開催中

社会福祉協議会では、平成23年度から地域見守り事業として地域福祉座談会を各地区区長に依頼して開催しています。この座談会で、「隣近所とのお付き合いが少なくなり、地域でのかかわりが薄くなってきている」、「一人暮らしの孤立死」、「介護が必要になったらどうすればいいのか」などの不安を抱えながら生活をしている人がいるという問題が浮き彫りになりました。この不安を取り除くため、小津奈木地区では小津奈木福祉部が立ち上がり『小津奈木地区地域見守り員』を発足しました。



活動を行う地域見守り員

## 地域見守り支援活動事業

「小津奈木地区」地域見守り員の発足

がしてくるので安心してできます」と話していました。こういった活動が町全体に広がれば、もっと安心で安全な住みやすい町になるのではないのでしょうか。

## もしもの時の『医療カード』

小津奈木地区では急病などの緊急時に、意識がない時、



この活動で訪問した世帯の人からはとても喜んでもらっており、私たちもその人の笑顔を見るととても安心します。普段一人で暮らしている人には「またぜひ来てください」と楽しみにしてもらっています。この活動を始めたことで、見守り員たちの意識も変わり、訪問日以外も近所の人を気にするようになりました。これからもみんなで試行錯誤しながらこの取り組みを続けていきたいです。

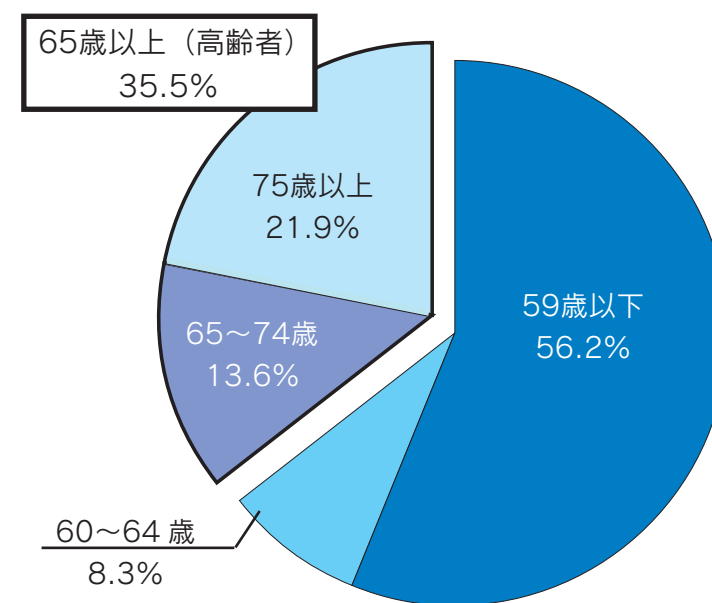
救急隊が到着しても医療情報収集に時間がかかるなどの経験から「医療情報カード」を作成しました。普段から電話機のそばに備え付けるようカードの配布を行っています。



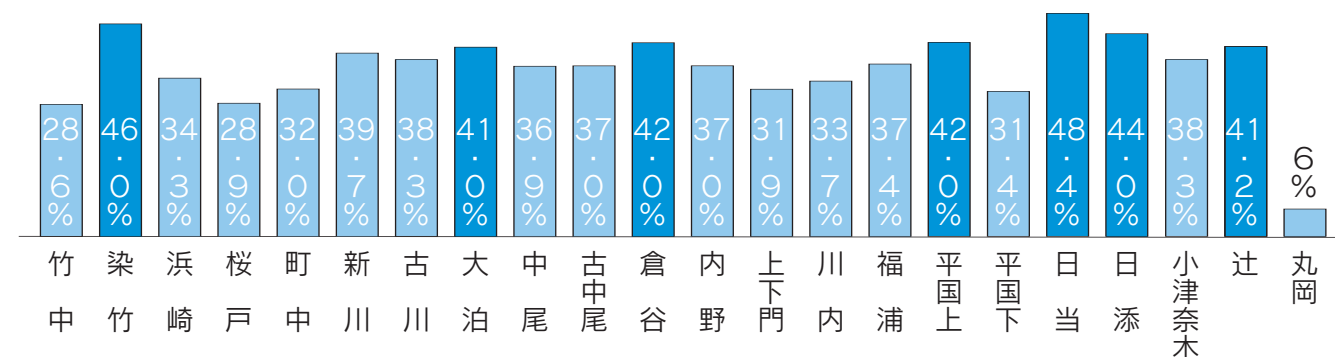
## 地域のつながり

～「今」 私たちにできることは～

津奈木町全体の年齢比率 (平成25年11月1日現在)



津奈木町地区別の高齢化率 ※数値には介護保険施設入所者も含む



## 高齢化率 35.5%！

急速に進む高齢化！

現在、急速な高齢化の進行が全国的な問題となっています。熊本県では、平成22年度の高齢化率は25.6%、10年後には31.7%、そして20年後には34.7%と推計されます。そこで本町を見てみると、円グラフのとおり高齢化率が35.5%となっています。これは県内平均の20年後の数値に匹敵する値となっています。さらに地区別で見るとすでに40%を越えている地区もあります。このような厳しい状況の中、住み慣れた家や地域でいづまでも安心して暮らすために大切なのは、地域でのつながり、助け合いの心ではないでしょうか。そこで今回は、現在、本町で地域ごとに行われている2つの事業を紹介しています。